



福山・府中支部だより

Hiroshima Nursing Association fukuyama fuchu bulletin magazine

広島県看護協会福山・府中支部会員数

保健師	67人(入会率34%)
助産師	59人(入会率61%)
看護師	2,143人(入会率43%)
准看護師	131人(入会率6%)
合 計	2,400人(入会率32%)

CONTENTS ① ごあいさつ ② 事業報告 ③ 事務職員紹介 ④ 役員紹介

支部長あいさつ

支部長 河城 仁美



平素より広島県看護協会福山・府中支部の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、なかなか支部活動が実施できない状況が続いています。役員一同、大変残念に思っております。新型コロナウイルス感染症が長期化する中、新たな生活様式への転換が求められています。支部

においても支部活動をどう実施していくか、試行錯誤ではありますが徹底した感染防止策を実施した上で、地域、施設、多職種との連携を大切に、魅力ある支部活動を行っていきたくと考えています。

令和2年度 事業報告 (令和2年4月から令和3年3月まで)

令和2年は新型コロナ拡大防止と安全確保のため、事業計画の多くを中止せざるを得なくなり、会員の皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫び致します。次年度は、事業計画の実現に向けて課題を解決していけるよう検討しております。

役員会及び施設代表者会議

広島県看護協会では県内11支部に分かれて活動を行っています。

支部役員は、支部長1名、副支部長2名、幹事7名(総務・財務・社経・教育)の10名で構成され、事務職員1名とともに活動の推進を図っています。役員会は年8回開催され、以下の支部事業の計画・検討・報告を行っています。

1. 支部総会
2. 諸会議
3. 研修事業 1)組織強化研修会 2)救急蘇生(BLS研修会) 3)社会経済福祉に関する研修会
4. 交流事業
5. 地域看護事業 1)まちの保健室 常設型 イベント型
6. 研究事業 1)看護研究に関する講義 2)看護研究サポート 3)研究発表会
7. 看護広報事業 1)進路相談 2)広報誌の発行
8. 関連職種地域連携事業



また、施設代表者会議は、看護協会に在籍する施設に呼びかけ、年3回予定していましたが、今年度第1回は、コロナウイルス感染症拡大防止策として書面の送付となりました。第2回は20施設の参加で、開催されました。支部長あいさつ、続いて初めて参加された施設長の自己紹介がありました。議題としてはまず、支部長会議の報告、続いて支部活動の報告、支部行事予定について報告、その他意見交換が行われました。

副支部長 中村 三鈴

令和2年度 事業報告

✎ 支部総会

令和2年4月25日(土) 書面開催

令和2年度広島県看護協会福山府中支部総会は、新型コロナウイルス拡大防止対策として、書面決議開催となりました。福山府中支部会員(令和2年3月現在会員数2253名)のうち書面決議書1980名の提出がありました。公益社団法人広島県看護協会支部運営規則第20条の1を適用し、令和2年度支部役員及び推薦委員の選出に関わる決議事項、令和元年度の活動報告・決算報告ならびに令和2年度の事業計画・予算について承認されました。

会員の皆様には、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

✎ 支部総会後研修

令和2年4月25日(土) 中止

広島県看護協会の使命として掲げられているように、『教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る』ことを目指し、支部総会後の学びとして研修会を開催しています。今年度は「備後地域における看護師の役割」をテーマに、脳神経センター大田記念病院の脳血管医学研究所研究員 大田章子様にご講義いただく予定となっていました。残念ながら研修会は中止となりました。

副支部長 奥田 貴子



✎ 救急蘇生(初級コース)

令和2年6月14日(日) 中止

BLS研修は、心肺停止および呼吸停止患者の致命率を上げることを目的に、一時救急処置の裾野を拡大し、人工呼吸も含めたCPRやAED操作方法の普及を目指すためにも開催の要望が多い研修の一つです。来年度は感染対策を遵守し、予定通り開催できればと思っています。

幹事(教育) 高橋 真弓



✎ 看護研究サポート事業

今年度の看護研究サポート事業は、福山平成大学 看護学部 教授 後藤満津子先生に直接指導・助言を受け研究を進めています。本事業で得た知識を、所属施設での看護の質向上に繋げていただきたいと思います。例年では、6月に「看護研究に関する講義」後、「看護研究過程におけるサポート」を受け、2月「看護研究発表会」の3つの構成ですが、2020年度、本事業は縮小せざるを得なくなり「看護研究過程におけるサポート」のみとなりました。サポートを受けている施設は、次の2題で令和3年度の看護研究発表会にて発表予定です。今後も研究サポートへの積極的な参加・ご協力をお願い致します。

誤嚥性肺炎を繰り返す高齢患者の「口から食べたい」 ～思いに寄り添った関わりを振り返る～	寺岡記念病院
パートナーシップ、ナーシング・システムが当院に適切かどうかの実態調査	セントラル病院

幹事(教育) 齋藤 靖子



✎ 進路相談

令和2年7月5日(日)中止

毎年、市内及び近隣の高校生を対象に進路の相談会を開催し、約15名前後の参加があり中には保護者の方も来会されています。

当日は、看護教員により看護教育について、現役の看護学生や看護師より体験談や現場で働く看護の面白さなどを伝えてもらっています。また進路の選び方などを直接相談できる機会も設けています。今年度は、開催が中止となりましたが、看護の将来を担う生徒たちが、自分の将来について相談できる場を継続して作っていきたいと考えています。

幹事(教育) 岡田 久美

✎ 社会経済福祉研修会

令和2年8月22日(土)中止

自らの力で感情がコントロールでき様々な場面でより良い人間関係が築けるようになることを目的とし、「誰もが生き生き働ける職場づくり～看護師の仕事と暮らしを豊かにするアンガーマネジメント研修～」をテーマに、サンライズ瀬戸 施設長 久保田あけみ様を講師にお招きし研修をしていただく予定にしておりました。

事前アンケートでは、職場での怒りの感情のコントロールで後悔している人が89%であることがわかりました。このアンケート結果を活かした研修を令和3年度には開催できるよう予定しています。

幹事(社会経済福祉) 平戸木 良江

✎ 看護協会・連盟交流事業

令和2年10月24日(土)中止

平成30年度「ブリザードフラワー作り」、令和元年度「ハーバリウムを作ろう」と題し各々先生の指導を受けながら、素敵な作品に仕上がりました。普段緊張した現場で従事している私達にとって、「花」と接し無心になる時間は、大変有意義で好評でした。

2年続けて『花』を愉しみましたので、今回は身体を動かして気持ちを表す『フラダンス』に挑戦したいと思っています。是非、皆様楽しみにお待ち下さい。

副支部長 中村 三鈴

✎ 看護フェスタ

令和2年10月 中止

例年、福山ポートプラザにて地域の皆様を中心に多くの方にご来場いただき、血圧測定、体組成測定、血管年齢測定、乳房触診モデル体験、健康相談などを体験してもらっています。会場ではマンドリン演奏やバンド演奏なども楽しんで頂いています。今後は、さらに地域に根差した活動ができるよう検討していきます。

幹事(総務) 松田 真紀

✎ 支部研修

令和2年11月21日(土)

今年度は「社会が求めるこれからの看護と特定医療行為～看護師の役割拡大～」をテーマに、川崎医科大学総合医療センター 川崎医療福祉大学看護実践・キャリアサポートセンター 山田佐登美様に講義して頂きました。

厚生労働省が推奨する在宅医療を目指す中、少子高齢化が進み労働人口の減少に伴い在宅医療医師が常駐しない環境で、ケア対象者のニーズに応じていく看護師を計画的に養成していくことを目的とした研修会でした。参加者は23名でアンケート集計の中には「特定行為終了者をどのように活用できるのか、管理の視点を学ぶことができた」「自立した看護師の育成に努めたい」など実働的な意見を聞くことができました。

幹事(教育) 竹縄 珠姫



まちの保健室

中止

「まちの保健室」とは、地域の不特定多数の住民が子供から高齢者まで世代を問わず出産・子育て・病気・心の健康・生活習慣病・介護などさまざまな健康問題を、身近な看護職に相談できる場です。平成25年度より天満屋福山店で第1・第3土曜日の14時から16時30分まで年間18回開催しております。今年度も25施設の看護師の皆様にご協力いただき住民の健康づくりの支援に尽力して頂く予定でしたが、すべて中止となりました。新年度は何かの形で地域の住民の皆様のご支援に携わることができることを願っております。

副支部長 奥田 貴子



事務職員紹介

広島県看護協会の各支部事務所に職員が1名在籍しています。

福山・府中支部でも、県看護協会との連携のもとに、支部役員が活動に取り組んでいます。

福山府中支部は、2009(平成21)年4月に開設され、2017(平成29)年3月より現在の福山市駅家町万能倉98-12セルティア101に移転しました。

従事する日は、月に12日で、時間は9時から13時となっています。2015(平成27)年4月より前任者からのマニュアルを基に業務を引き継ぎ、現在に至っています。

仕事内容は、広島県看護協会との連絡業務、及び支部役員会・施設代表者会議など各会議、と各事業担当役員からの依頼を受け案内状の印刷・発送、資料作成などの準備を行っています。各議事録の整理・保管、会計業務のお手伝いもしています。

今後も、支部役員と連携を図りながら業務を行っていきたいと思います。



令和2年度 役員紹介



役職名	氏名	所属施設
担当理事	住吉 悦子	福山市保健福祉局児童部
支部長	河城 仁美	公立学校共済組合中国中央病院
副支部長	奥田 貴子	医療法人紅萌会福山記念病院
副支部長	中村 三鈴	社会医療法人社団陽生会寺岡記念病院
幹事 総務	松田 真紀	独立行政法人国立病院機構福山医療センター
幹事 財務	河村 桂子	福山市市民局神辺支所神辺保健福祉課
幹事 社会経済福祉	平戸木良江	神石高原町立病院
幹事 教育(研究)	齋藤 靖子	福山市民病院
幹事 教育(進路相談)	岡田 久美	医療法人辰川会山陽病院
幹事 教育(BLS)	高橋 真弓	医療法人信英会島谷病院
幹事 教育(支部研修)	竹縄 珠姫	福山リハビリテーション病院

編集後記

今年度、新型コロナのため支部活動中止が多い中、支部だよりの発行ができるかどうか、不安に感じておりましたが、皆様のご協力で第35号の広報誌を無事発行することが出来ました。これからも支部活動内容が皆様にお伝えできるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

[発行日] 令和3年3月1日発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 福山・府中支部
〒720-1131 福山市駅家町万能倉98-12
TEL/FAX:084-976-9300

[発行責任者] 河城 仁美